

	団体コード:102091 9. 藤岡市	〒375-8601 藤岡市中栗須327番地	
		TEL 0274-22-1211 FAX 0274-24-3252	市役所まで:JR群馬藤岡駅徒歩20分
市長 新井 雅博 期数 1 任期 R4.5.9 副市長 高橋 厚	市制施行日 昭和29年4月1日 H P https://www.city.fujioka.gunma.jp/ E-mail kikaku@city.fujioka.gunma.jp	面積	180.29 km ²
議長 松村 晋之 (議員任期R5.4.29)	花:ふじ、サルビア、冬桜 木:くすのき、もくせい、杉 鳥:-		

キャッチフレーズ : 郷土を愛し 未来を創生する藤岡

【市町村のあらまし】

藤岡市は群馬県の南西部に位置し、高速交通網の結節点で、東京圏から藤岡ジャンクションまで約1時間の距離に位置する北関東屈指の広域交通の利便性を誇るまちである。一方で市域の7割が山間地という豊かな自然環境は、四季折々の彩りに包まれた美しい景観を形成している。

歴史は古く、古墳時代の史跡も多く発見され、室町時代には関東管領職にあった上杉憲実が平井城を築いた。江戸時代は上州絹の集積地として栄え、明治以降は高山社に代表される養蚕業の先進地、また、木材の集積地として発展してきた。

平成26年6月には「高山社跡」が「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産として世界文化遺産に登録された。

【産業・経済】

農業は、トマト・イチゴ・花卉等を中心とする施設園芸作物や露地ナスが大きなウエイトを占めており、特にシンビジウム(洋らん)は集団出荷で全国トップクラスの実績である。

林業は、群馬県三大林業地帯の一つで、県産材センターが建設されている。

製品出荷額は、輸送、金属、プラスチック、電気機器が主体となっており、関越自動車道、上信越自動車道、北関東自動車道がクロスする交通の要衝となっている。

【世界文化遺産】

高山社跡(富岡製糸場と絹産業遺産群)

【観光施設・公共施設等】

ららん藤岡(道の駅・ハイウェイオアシス)

みかぼみらい館(文化ホール)

ふじふれあい館(藤の資料館)

土と火の里公園(工芸体験村)

桜山公園

三波石峡

【名勝・旧跡】

名勝(国・市指定)

三波川(サクラ)、三波石峡、蛇喰溪谷

史跡(国・県指定)

高山社跡、七輿山古墳

譲原石器時代住居跡、平井城跡

【文化財】

平井一号墳出土品(国指定)

紙本著色泰西王侯図二幅(国指定)

鉄造薬師如来立像(県指定)

沖Ⅱ遺跡出土遺物一括(県指定)

紙本著色達磨図(県指定)

【伝統行事・伝統芸能】

御荷鉾山不動尊獅子舞(4月・中止)

土師神社の流鏝馬と花馬(10月)

三嶋神社夜祭り(11月)

鬼石三杉太鼓、鬼石祭囃子

【祭り・イベント等】(R2.6.1現在)

花と緑のぐんまづくりin藤岡(4~5月・中止)

藤岡ふじまつり(4~5月・中止)

鬼石夏祭り(7月・中止)、藤岡まつり(7月・中止)

関孝和先生顕彰全日本珠算競技大会(11月・中止)

上州藤岡蚕マラソン(11月・中止)

桜山まつり(12月)

【特産品・名物】

藤岡瓦(鬼瓦、和瓦)、三波石、シンビジウム、

冬桜みかん、冬桜りんご、ブルーベリー、

イチゴ「やよいひめ」、トマト「ふじ娘」、地酒、

キムトマ焼きうどん、辛っ風うま味噌うどん

【国勢調査人口】

区分		H17.10.1	H22.10.1	H27.10.1
人口	男	33,731	33,186	31,983
	女	35,557	34,789	33,725
	計	69,288	67,975	65,708
世帯数		23,590	24,298	24,569
構成比	15歳未満	14.5 %	13.6 %	12.4 %
	15~64歳	64.6 %	62.5 %	59.0 %
	65歳以上	20.9 %	24.0 %	28.7 %

【人口及び有権者数】

区分	人口	有権者
男	31,958	26,962
女	33,159	28,264
計	65,117	55,226
世帯数		27,587 世帯

※
人口及び世帯数は住民基本台帳(R2.1.1現在)に基づく数値である。
有権者はR2.6月登録日現在の選挙人名簿登録者数である。

【令和元年度土地利用の状況】

農地	14.9 %	2,681 ha
宅地	9.0 %	1,629 ha
山林	33.2 %	5,994 ha
その他	42.8 %	7,725 ha

【産業別就業者数】 (H27国調)

区分	第1次産業	第2次産業	第3次産業	総数 (分類不能含)
就業者(人)	1,440	11,696	19,221	32,734
構成比(%)	4.5	36.1	59.4	100.0

【普通会計予算規模】 (単位:百万円)

年度	当初予算額	増減率
30	26,343	△ 0.7 %
1	26,039	△ 1.2 %
2	26,765	2.8 %

【議会議員】

条例定数 : 18 人	現員数 : 18 人	(R2.5.1現在)
-------------	------------	------------

【職員数】 (R2.4.1現在)

一般行政	教育	消防	公営企業等	合計
337 人	64 人	0 人	178 人	579 人

【令和元年度の主な施策・事業】 (単位:百万円)

北藤岡区画整理事業	440
藤岡インターチェンジ西産業団地関連事業	195
高山社跡管理・保存整備事業	99
小中学校体育館改修事業	35
花と緑のぐんまづくり事業	29
公民館大規模改修事業	20
通学路防犯カメラ設置事業	17
市制施行65周年記念花火大会事業	13
地域の歴史・文化保存継承事業	8
高齢者運転免許証自主返納支援事業	2

【令和2年度の主な施策・事業】 (単位:百万円)

避難施設再生可能エネルギー設備等導入事業	694
幹線道路整備事業	365
生活道路等要望事業	350
公民館大規模改修事業	196
小中学校体育館改修事業	173
東平井工業団地(第2期)整備事業	150
庚申山テニスコート改修事業	57
藤岡インターチェンジ西産業団地整備事業	46
農業の担い手支援事業	44
工業振興事業	32

【特色ある施策・事業等】

- ・高山社跡保存整備事業
- ・高山社学(高山社の歴史的価値について学び、郷土を誇りに思い、郷土を愛する子どもを育成する。)
- ・算学塾(算数・数学の美しさに触れ、粘り強く難問に挑戦し、子どもの興味関心を高める。)
- ・関孝和先生顕彰全日本珠算競技大会開催事業
- ・空き店舗等活用事業

【今後の主要課題及び目標等】

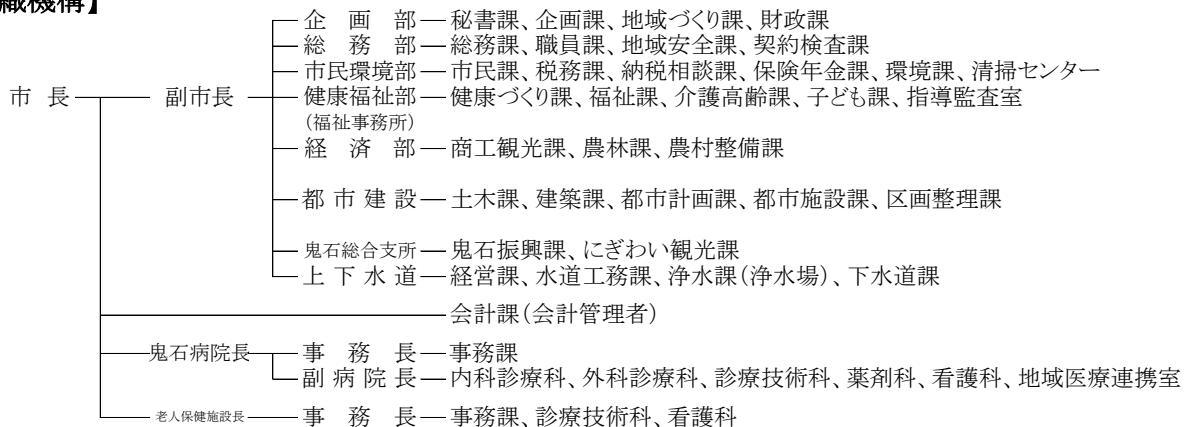
第5次藤岡市総合計画の主要課題<一部抜粋>

- ・市全体の防災力の向上
- ・保健・医療・福祉サービスの確保と連携
- ・産業基盤の強化や企業誘致の促進
- ・交通の利便性と安全性の確保
- ・郷土芸能や伝統行事などの文化の継承
- ・人口減少社会に対応した行政運営

藤岡市総合戦略の基本目標

- 「藤岡に来てもらう」、「藤岡で働いてもらう」
- 「藤岡で家族を作ってもらう」、「藤岡に住み続けてもらう」

【組織機構】



教育委員会— 教育長 — 教育部長— 教育総務課、学校教育課、生涯学習課、文化財保護課、スポーツ課
学校給食センター、図書館